

# 第5回 勇気ある経営大賞

## 受賞企業一覧

(大賞・優秀賞は社名の50音順)

第5回「勇気ある経営大賞」の受賞企業が決まった。今回は前回は上回る170社の中小企業が応募。実行委員会(委員長「川本信彦副会長・本田技研工業特別顧問」)や選考委員会(委員長「西澤潤一首都大学東京学長」)らを中心に厳正かつ公正に審査、選考を行い、大賞2社、優秀賞6社、特別賞1社が選ばれた。

大賞は、小形歯車に特化し、経営の苦しい時期にも投資を続けて技術を磨いてきたチバダイス(千葉英樹社長)、日本での患者数が少ないため大手製薬会社が二の足を踏む中、新薬の開発に挑戦した東光薬品工業(小林洋一社長)の2社。その他の受賞企業も、経営課題の解決に果敢に挑戦し、成果を挙げてきた。社会貢献や顧客満足を重視する受賞企業が多いのも今回の特徴で、多くの中小企業の規範となる企業が選定された。

本紙では受賞企業の概要を紹介する。

優秀賞	優秀賞	大賞	大賞	
<b>京西テクノス</b>  所在地……八王子市 資本金……4000万円 従業員数……3000人 創業……1991年 <b>白井 努 社長</b>	<b>イビサ</b>  所在地……港区 資本金……8120万円 従業員数……293人 創業……1965年 <b>吉田 茂 会長</b>	<b>東光薬品工業</b>  所在地……足立区 資本金……8000万円 従業員数……125人 創業……1961年 <b>小林 洋一 社長</b>	<b>チバダイス</b>  所在地……葛飾区 資本金……4800万円 従業員数……30人 創業……1966年 <b>千葉 英樹 社長</b>	
<b>事業内容</b> あらゆるメーカーの計測器、医療機器、通信機器の保守修理などのサポートサービス	<b>事業内容</b> 皮革製品製造販売	<b>事業内容</b> 医薬品製造業。湿布薬など外用剤の医薬品や化粧品が主力品。主に医療用医薬品を全国の病院や調剤薬局に販売している	<b>事業内容</b> 小形歯車加工。超精密加工技術を結集し、小形歯車の開発・生産技術(金型制作ほか)・製造・研究を一貫して手掛ける	
<b>受賞理由</b> 培った技術を生かして、国内初の「トータルマルチベンダーサービス」を生み出し、独自の検査装置も開発した。 ・新本社の建設、全国展開、中国進出も狙うなどチャレンジ精神旺盛。	<b>受賞理由</b> 職人への依存度が高くなりながら業界で工程の細分化により作業を単純化、準社員でも生産できる体制を整え、垂直統合経営の価値を最大化している点。 ・修理の永久保証や月2回開催する工場見学バスツアーなどで、徹底的に顧客満足を追及している点。	<b>受賞理由</b> 白血病治療薬の新薬開発にチャレンジし、ほとんど例がない中小製薬会社による日本発の新薬開発を見事成功させた。患者数が年間200人程度と少なく、大手製薬会社の開発参加が難しいなか、「社会に貢献する」という経営理念から、資金面など多くのリスクとさまざまなハードルを産学連携などをうまく活用し乗り越えた。	<b>受賞理由</b> ・産学連携による新製品開発や短納期の高品質試作品製作サービスといった、業界の常識にとらわれない独自の製品・サービス開発力で、景気低迷や中国企業の台頭による経営の危機的状況を乗り越え成長していること。 ・既存の技術を地道に発展させることによる他社との差別化戦略は、日本の中小製造業の目指すべきモデルとなり得ること。	
特別賞	優秀賞	優秀賞	優秀賞	優秀賞
<b>ヤマグチ</b>  所在地……町田市 資本金……1000万円 従業員数……44人 創業……1965年 <b>山口 勉 社長</b>	<b>ワールドパイオニア</b>  所在地……中野区 資本金……1000万円 従業員数……11人 創業……1991年 <b>中園 秀喜 社長</b>	<b>浜野製作所</b>  所在地……墨田区 資本金……1000万円 従業員数……30人 創業……1978年 <b>浜野 慶一 社長</b>	<b>東京信友</b>  所在地……新宿区 資本金……2000万円 従業員数……10人 創業……1983年 <b>齊藤 勝 社長</b>	<b>昭和測器</b>  所在地……千代田区 資本金……1000万円 従業員数……24人 創業……1968年 <b>鶴飼 俊吾 社長</b>
<b>事業内容</b> 家電小売業	<b>事業内容</b> 聴覚障害者向け機器・福祉機器企画販売、手話関連教材の作成、手話通訳の人材派遣など	<b>事業内容</b> レーザー加工金型精密板金プレス加工業	<b>事業内容</b> 「光、振動、文字表示」で情報を伝える情報機器の開発	<b>事業内容</b> 振動計の開発製造
<b>受賞理由</b> ・「お客様をよこし喜ばす」サービス姿勢は類を見ず、量販店と比べてかなり高い売値でも買ってもらう「経営手法が秀逸であること」。 ・小型の電器店が続々と閉店に追い込まれる中で成長を続ける経営は、家電に限らず小売業が生き残るモデルとなり得ること。	<b>受賞理由</b> ・聴覚障害者の自立や就労促進をサポートする、これまでにない機器の開発で、聴覚障害者の生活上の不便を解消していること。 ・聴覚の視点によるバリアフリーの浸透を図っている点。	<b>受賞理由</b> ・東京ならではのものづくりを実践している企業。 ・工場の全焼という存亡の危機を乗り越え、売り上げを伸ばしたこと。 ・産学官連携を活用し、インターネット受注のシステムを構築。取引先を飛躍的に増加させた点。	<b>受賞理由</b> ・限られた形状にさまざまな部品を一堂に内蔵することに挑戦し、大変困難である腕時計に情報端末を組み込む機器の開発を成功させたこと。 ・聴覚障害者向けに限らず、販路を一般ビジネスの分野にまで広げること成功した点。	<b>受賞理由</b> ・絶え間ない研究開発と専門性の追求で、顧客からの要望に応え続けた結果、今やなくてはならない業界トップ企業となっていること。 ・トップの率先垂範の姿勢によりCS(顧客満足)だけでなく、ES(従業員満足)を実現させている点。